

ヤオコー 2020年3月期 決算 ～単体31期連続增收増益達成～

【連結業績】

(百万円、%)

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期(予想)	
営業収益	435,085	4.8	460,476	5.8	473,100	2.7
営業利益	17,900	5.5	19,882	11.1	20,200	1.6
経常利益	17,488	5.8	19,629	12.2	19,900	1.4
当期純利益	11,798	7.2	12,458	5.6	12,700	1.9

【単体業績】

(百万円、%)

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期(予想)	
営業収益	380,992	4.7	401,358	5.3	412,600	2.8
営業利益	16,059	5.5	17,754	10.6	18,000	1.4
経常利益	15,984	6.4	17,829	11.5	18,010	1.0
当期純利益	11,139	8.1	11,574	3.9	11,850	2.4

【既存店売上高、客数、客単価・点数PI値・一品単価 対前期増減率】(%)

	2019年3月期		2020年3月期	
売上高	1.3		3.0	
客数	△0.9		0.2	
客単価	2.2		2.8	
一品単価(買上点数)	0.7	1.4	0.4	2.3

■業績概況

ヤオコーの2020年3月期連結業績は、営業収益460,476百万円(前期比5.8%増)、営業利益は19,882百万円(同11.1%増)、経常利益は19,629百万円(同12.2%増)、当期純利益は12,458百万円(同5.6%増)となった。

ヤオコー単体では、営業収益401,358百万円(前期比5.3%増)、営業利益17,754百万円(同10.6%増)、経常利益17,829百万円(同11.5%増)、当期純利益11,574百万円(同3.9%増)。単体では、31期連続の增收増益を達成した。

增收増益要因としては、2019年10月の消費増税対策としての集客施策(ポイント5倍キャンペーン)や年末商戦等が好調であったことに加え、新型コロナウィルス発生に伴う予防対策としての衛生用品や食品等の買いだめ需要により売上が伸長したため。

また、連結子会社のエイヴィの実績に関しても、

新型コロナウィルス発生に伴う予防対策としての買いだめ需要が業績に寄与している。

なお、新型コロナウィルスの従業員への感染およびそれに伴う臨時休業などは無かったとしている。

■新型コロナウィルスの影響

商品的には、3月については、休校が始まった影響もあり簡単に調理できる簡便商品や冷凍食品、米、青果類度品(一般野菜、バナナ、りんご)等が伸長。4月については、長引く休校、外出自粛要請の影響により手作り需要が増加。3月に引き続き簡便食品や青果類度品等が好調だったうえ、小麦粉や餃子の皮、生クリーム、農産乾物等が好調。なお、マスクや消毒液、ハンドソープ等の衛生関連商品は品薄状況が続いている。

なお、同社では、新型コロナウィルスの流行が無かったと仮定した場合の2、3月のトレンド

※継続は正規版にお申し込み下さい。

**契約企業以外の閲覧・利用、非契約者への譲渡を固く禁じております。
不正利用は利用規約違反であり、著作権法に抵触する恐れがあります。**

Food Navigation 年間利用会員様 募集のご案内

惣菜



惣菜売場でのポイントは弁当。弁当類は平成台で展開され、弁当の盛り付けに特に力を入れているという。百貨店の商品の盛り付けを目指し、ボリュームを出しつつ、豪華に見得るように、品目や色合いなども工夫されている。

米飯



「赤魚の粒漬け弁当」「季節の彩りはづき弁当」

「季節の味覚御膳」

温惣菜



「厚切り鮭弁当」「豚肉アスパラチーズ巻弁当」



「アグリーフライ」「あゆの塩焼」

鮮度感
のある情報を…

3.11以降の変化

東北エリアを見ていると、3.11大震災以降の購買行動が変わってきたように見える。一つは高齢化、年金、社会保障に関する不安から、1円でも安くという節約志向にある。もう一方では、同じ買い物をするのであれば、商品を吟味して安全・安心など、価値のあるものを買うというニーズが一段と高まっており、大きく転化してきたといえる。どっかつかずの商品やサービスは消え行く傾向にあるようだ。自分達のターゲットとコンセプトを明確にし、お客様を創造していく



「ヤオコー川越的場店」
「ヤオコー進化を象徴
新フランチャイズ店」
「オーブン

も好調なセブンプレミアムのマネジメント力などをもっと学ぶべきであると思っている。

■セブンプレミアム商品について

セブンプレミアム商品の開発には、明確な目標や志、コンセプトが必要。これからはカテゴリー毎に「コア」商品を作らなくては生き残れない。セブンプレミアムシリーズに関してはリピーターが増えており、特にゴールドシリーズに関しては、月を追うごとに増えている。価格は安くないが支持は高い。大事なのはベーシックな商品でリピーターをしっかりと作っていくこと。珍しいものを作るより、基本の商品で多くの支持を集めていくことが大切。

東北エリアを見ていると、3.11大震災以降の購買行動が変わってきたように見える。一つは高齢化、年金、社会保障に関する不安から、1円でも安くという節約志向にある。もう一方では、同じ買い物をするのであれば、商品を吟味して安全・安心など、価値のあるものを買うというニーズが一段と高まっており、大きく転化してきたといえる。どっかつかずの商品やサービスは消え行く傾向にあるようだ。自分達のターゲットとコンセプトを明確にし、お客様を創造していく

▲上記記事は過去
掲載記事例です。

■『Food Navigation』とは・・・

スーパー・マーケットの新店をはじめ、コンビニや一部外食など、惣菜を中心に生鮮部門などもレポートするWeb閲覧媒体です。特に惣菜においては、各バイヤーのコメントなど鮮度感のある情報を提供しております。

■年間サービス利用料金

年間サービス利用料：90,900円+税（税込99,990円）※こちらは小売業様価格となります。

■ご利用にあたって

※当サービス利用申込企業様は当サービス「利用規約」を承諾したものとします。

※当サービスでは、会員様が安全にご利用頂けるよう暗号化ファイル（FinalCodeシステム）での提供をしております。FinalCodeの動作環境としては、OSはWindows7以降、WebブラウザはInternet Explorer 10、11、Microsoft Edgeとなっております。※JavaScript使用※Cookie使用。

※また、当サービスは契約企業内のみでの利用となっており、営業手段としての利用は禁止しております。

« 入会申込書 »

株式会社フードナビゲーションジャパン 担当：小池 宛

FAX. 048-424-5547

TEL. 048-424-5546

携帯：090-2545-4724

E-mail : info@foodnavigation.com

申込日： 年 月 日 (年 月より利用開始)

『Food Navigation』利用規約を承諾し、年間利用に申し込みます。※左空欄にチェックを入れて下さい。

配信先担当者	企業名	連絡先	TEL:
	住所 部署 役職 氏名		FAX:
		情報配信先	E-mail:
請求先	請求書送付先 担当者 部署・ 役職・氏名	連絡先	TEL: FAX: